宝塚市新ごみ処理施設でできることは、なにがあるかな?

たからづかししん しょりしせつ も ねつ こうりつてき りょう 宝塚市新ごみ処理施設には、ごみを燃やすときの熱を効率的に利用するたせつび そな めの設備が備わっています。

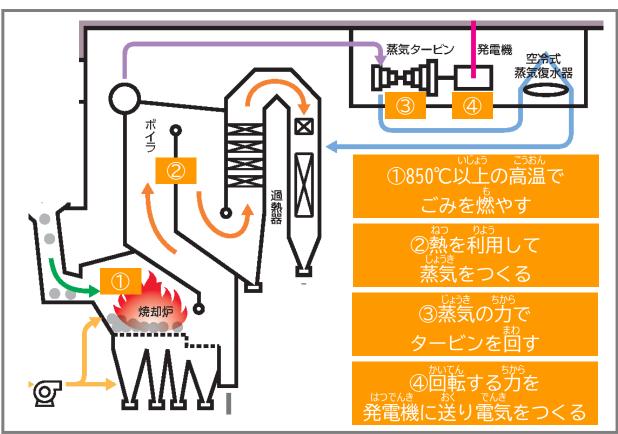
また、運ばれてきた資源ごみを選別して、再利用するための前処理を行っ また、道はれてきた資源ごみを選別して、再利用するための前処理を行っ まえしか こうじょう はて きいりょう じゅんび ています。前処理とは、工場などに運び再利用するための準備のことです。



こうりつでき ねつりよう しげん とりだ 効率的な熱利用や資源を取出すためにできることがあります

どのように効率的に熱を回収して利用するのかな?

焼却炉では、850℃以上の高温でごみを燃やし続けています。 このときの熱を回収し、利用することで、電気をつくることができます。 でんき 電気がつくられるしくみはつぎのとおりです。





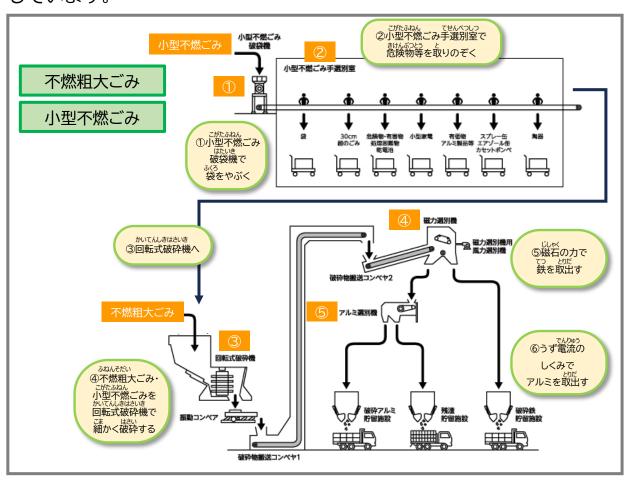
水切りをすると、安定的に高温で ごみを燃やせるので、たくさんの 熱を回収できます!



きけん 危険なごみなどが入ると、 きかい こしょう 機械が故障してしまいます!

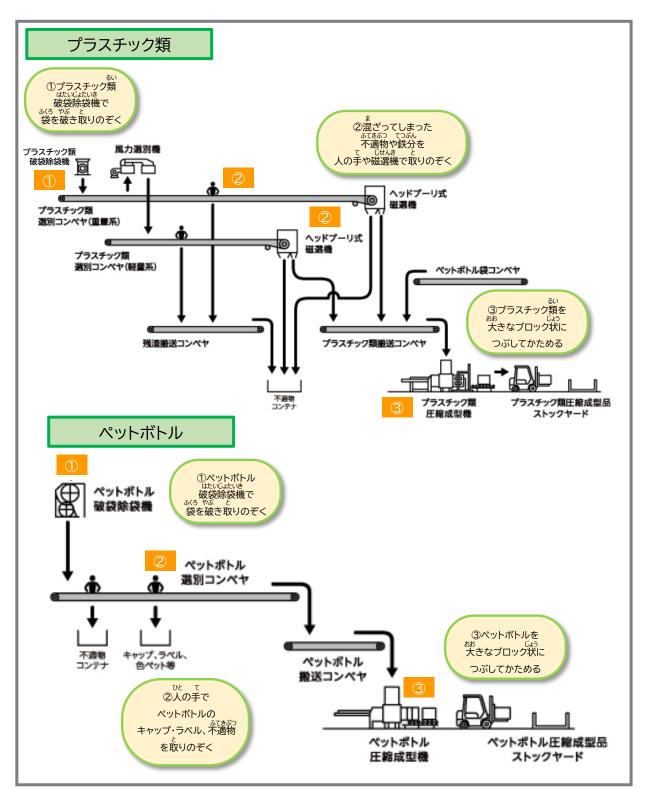
粗大ごみや小型不燃ごみはどうしているの?

宝塚市新ごみ処理施設では粗大ごみや小型の不燃ごみからは、鉄とアルミを取出すしくみがあります。取出した鉄とアルミは、再生利用をする工場に運ばれて建築資材などに再利用されます。少しの資源もむだなく利用をしています。





どのように資源を選別して再利用するの?



どのように資源を選別して再利用するの?

たからづかし しん しょりしせつ は せんべつ 宝塚市新ごみ処理施設では、運ばれてくるかん・びんを選別して、 さいりよう まえしょり おこな 再利用できるように前処理を行います。

